

令和3年度 第3回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和4年3月28日（月）10時00分～11時00分

開催場所 彦根勤労福祉会館 大ホール

出席者 別紙参照

1 開会

2 議事

(1) 「第1号議案 令和4年度事業計画（案）」「第2号議案 令和4年度収支予算（案）」について
(資料1-1、資料1-2、資料2)

- ・ 第1号議案および第2号議案について、事務局より議案書に基づき説明がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 野村委員（（社）滋賀県バス協会専務理事）

- ・ 資料1-2について、P.1の令和3年度や令和2年度の利用実績の記載があるが、路線バスの欠損額は滋賀県や市町から補助をもらっているはずである。
- ・ P.2に経年推移のグラフもあるが、補助は税金であり、欠損額を減らす努力が必要ではないか。
- ・ 本文中にも記載がある通り、平成31年4月1日に再編されて運行開始し、目標にも記載されているのではないか。

● 事務局

- ・ ご指摘の通り、令和3年度や令和2年度の利用実績の欠損額は、滋賀県と市町で全額負担しており、負担（欠損額）を減らす努力は必要と考えている。
- ・ 地域公共交通網形成計画に記載の目標は利用者数であり、負担金ではない。
- ・ 目標の利用者数を増やす施策を行うことで、市町の負担金を減らせたなら良いと考えている。

● 安藤会長（彦根市副市長）

- ・ 市町の決算について、議会でもご指摘頂くのでそちらで対応して欲しい。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 資料1-2のP.9にも観光客の公共交通利用促進の記載があるが、前回の総会の議事でもあったP&Rについて、補足説明をお願いしたい。
- ・ 路線バスの多賀線やご城下巡回バスを利用するとのことだったが、その費用は今回の予算に含まれているのか。

● 事務局

- ・ 前回の総会でP&Rを4月に社会実験を実施することで審議いただいたが、コロナ感染症拡大の影響で延期となってしまった。中止ではなく延期であるため、実施する際には改めて総会にて審議いただく予定である。
- ・ ゆくゆくは本格運行を考えており、本格運行に向けての実証実験という位置づけ。

- ・ 路線バスの多賀線やご城下巡回バスの増便費用は、社会実験費用（別予算）で支払う予定であり、本格運行になった場合は現在の路線バス費用負担の枠組みで支払うことになると考えている。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
- ・ 資料 1-2 の P. 7 「ウ. 近江鉄道線の利用促進策」について、10 市町の法定協議会（近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会）で議論されると思うが、湖東圏域の活性化協議会での議論する必要はないか。
- 事務局
- ・ 鉄道利用促進策を検討するのは近江鉄道の法定協議会という認識である。5 市 5 町の事業としての取り組みなので個別で行う。
 - ・ 湖東 1 市 4 町では、湖東圏域内で収まる事業があれば議論する必要がある。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
- ・ 近江鉄道の公共交通計画はまちづくりや都市計画の視点も含まれているため、活性化協議会でも情報を提供して欲しい。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
- ・ 資料 1-2 の P. 8 「ク. グリーンスローモビリティ活用策の検討」について、交通サイドの考え方を紹介して欲しい。
- 事務局
- ・ グリーンスローモビリティは市の令和 4 年度事業で社会実験を実施する予定で、運賃は無料。彦根城周辺を周る予定である
 - ・ 有料での運行は活性化協議会との議論が必要であるが、その際は報告・協議させてもらう予定である。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
- ・ 資料 1-2 の P. 7 「エ. 地域公共交通計画の検討」について、Maas や e-Palette（イーパレット）、グリーンスローモビリティ等の新技術が色々あるが、湖東圏域でも何か検討していくのか。
- 事務局
- ・ 地域公共交通計画の検討は、近江鉄道での取り組みについて、記載内容を変更する必要があると思い項目として挙げている。また、既存の網形成計画は令和 5 年までが計画期間でもあるので、その先の計画も検討する必要がある。
 - ・ 新技術を検討する必要があると思っているが、導入当初に大きな資金が必要になることを踏まえると、現時点で導入することは考えていない。
 - ・ 湖東圏域では Google マップでの検索が可能で、既に愛のりタクシーWEB 予約システムを導入しているため、実現性を考えて既存技術を活用して行う予定である。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
- ・ 現時点ではそれで良いが、福祉部署やその他関係部署も巻き込んで、大きな枠組みの中で先を展望して計画を検討して欲しい。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 欠損額はコロナ感染症拡大の影響を路線バスも受けていると思われ、愛のりタクシーの乗合率も下がっているが、今後はコロナ感染症も落ち着き、盛り返すと思っている。
- ・ 路線バスのうち、平田線や甲良線の平均乗車密度が低い、その理由は分かるか。また、この2路線の改善策があれば教えて欲しい。

● 事務局

- ・ コロナ感染症の影響で外出控えが発生していると思われ、湖東圏域の定期券利用は減っており、定期券外の自由に外出できる方が減った。
- ・ 利用者をどう増やすかについて、公共交通で気軽に出かけてもらえるのが良く、昨年導入したICOCAの周知や路線バスを使ったことがない方に利用してもらう取り組みを進めていきたい。

● 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 会長）

- ・ 甲良町に住んでいるが、愛のりパンフレットにも時刻表が記載されているが、愛のりタクシー間の接続はうまくいっているのか。高齢者で愛のりタクシーを乗り換えている方もおり、乗り換えなしで何処でも行けるようにならないのか。豊郷駅止まりをおした整形・たけは内科まで行けるとか、河瀬駅止まりを三津屋の方まで行けるとか。

● 事務局

- ・ 全ての目的に行けるようになるのは難しい。要望が多い停留所等はピンポイントで改善していきたい。

● 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 会長）

- ・ 近江鉄道の利用について、各駅でどんな取り組みができるかを考える必要があり、路線バスの利用者にも影響する。
- ・ 路線バスは乗客は少ないが、非常にサービスが良く便利に使えるので、住民への周知方法を工夫する必要がある。また、彦根駅から銀座に行きたかったが、駅での時刻表看板が見にくく、良く分からなかった。

● 事務局

- ・ 近江鉄道駅については、沿線市町で連携を図っていく必要はある。
- ・ 彦根駅での路線バス時刻表は主な行き先別で整理しているが、確かに銀座行きはない。今回の意見を参考に、どなたでも簡単に行けるように情報提供のあり方を引き続き考えていきたい。

(2) 「第3号議案 生活確保維持改善計画（案）」について（資料3）

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき資料説明がなされたが、質疑はなかった。

(3) 「報告事項 愛のりタクシー停留所および路線バス停留所の名称変更等」について（資料 4-1、資料 4-2）

- ・ 報告事項について、事務局より資料説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

(4) その他

- ・ 次回総会は例年通り 6 月～7 月を予定しており、議案は令和 3 年度の事業報告や決算報告等である。
- ・ 次回総会の日時は後日調整する旨の連絡があった。

3 閉 会

以上